

第 3 期  
南国市中心市街地振興計画

令和8年（2026年）4月

南国市中心市街地振興協議会

## 目次

南国市中心市街地振興計画策定にあたって	1
第1章 南国市中心市街地の概要	
（1） 南国市中心市街地の位置及び範囲	2
（2） 南国市中心市街地の現状	3
（3） 南国市中心市街地の課題への対応	10
（4） 第2期計画の振り返り	12
第2章 南国市中心市街地振興計画の基本方針等	
（1） 計画の位置づけと計画期間	13
（2） 基本方針	14
（3） 南国市中心市街地振興のための基本となる取組	14
第3章 南国市中心市街地振興に向けた取組と数値目標の設定	
（1） 目標達成に向けた取組	15
（2） 中心市街地振興に向けた数値目標の設定	16
（3） 中心市街地振興実現に向けた推進体制	18
【参考資料編】	
参考資料1 南国市中心市街地振興協議会委員名簿	19
参考資料2 南国市中心市街地振興協議会設置要綱	20
参考資料3 南国市中心市街地振興協議会開催状況	22
参考資料4 南国市中心市街地振興協議会ワーキンググループ開催状況	23

## 南国市中心市街地振興計画（第3期計画）の策定にあたって

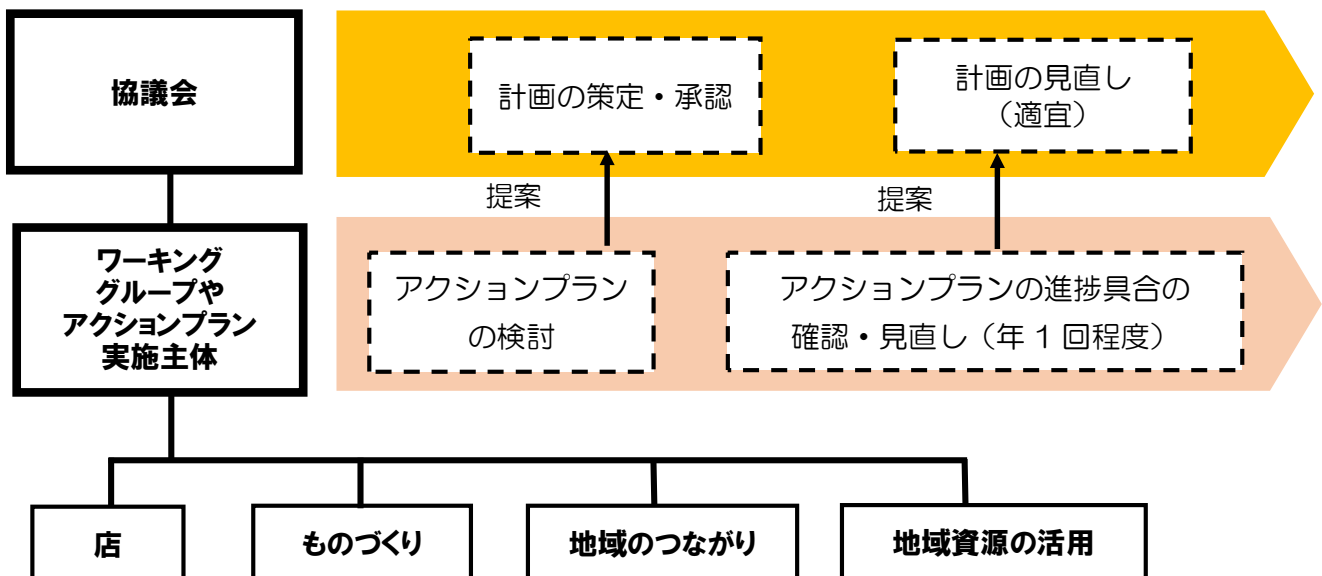
令和元年11月13日、地域住民、中心市街地事業者、商工会、観光協会、行政機関等で構成される「南国市中心市街地振興協議会」（以下「協議会」という。）を設立し、令和2年9月に中心市街地活性化を目的とした取組の指針となる「南国市中心市街地振興計画」を策定しました。そして、「南国市中心市街地振興協議会ワーキンググループ」（以下「ワーキンググループ」という。）で検討したアクションプラン（行動計画）を実行することで、中心市街地のにぎわいづくりを進めてまいりました。

第2期計画期間中には、社会経済環境や消費行動の変化への対応を図りながら各種事業を推進するとともに、令和7年3月から連続テレビ小説「あんぱん」の放送が開始されたことを契機として、「やなせたかしが育ったまち」としての認知度向上と観光機運の高まりが見られ、ハード面においても、シンボルロードの開通ややなせライオン公園の整備もあり、中心市街地への来訪や関心の拡大につながる新たな動きも生まれました。

第3期計画の策定にあたっては、第2期計画の基本方針を継承しつつ、これまでの取組成果と課題を踏まえ、個々の取組を継続・発展させるとともに、取組相互の連携を強化し、来訪者の回遊促進と地域の関係人口の拡大を図りながら、より持続的ににぎわいの創出につなげていくことを目的としています。今後も協議会を中心に、行政機関、各関係機関、事業者及び住民の皆様と共に、本計画に基づく取組を着実に進め、中心市街地のさらなる活性化を目指してまいります。

令和8年4月 南国市中心市街地振興協議会

【南国市中心市街地振興協議会体制図】



## 第1章 南国市中心市街地の概要

### (1) 南国市中心市街地の位置及び範囲

本市においては、古くから農林業が盛んであり、農業用、山林伐採等に必要なたち刃物が作られてきました。農業の近代化に伴い、農業用機械の製造企業が設立され、海外への販路を広げるなど事業を拡大してきました。

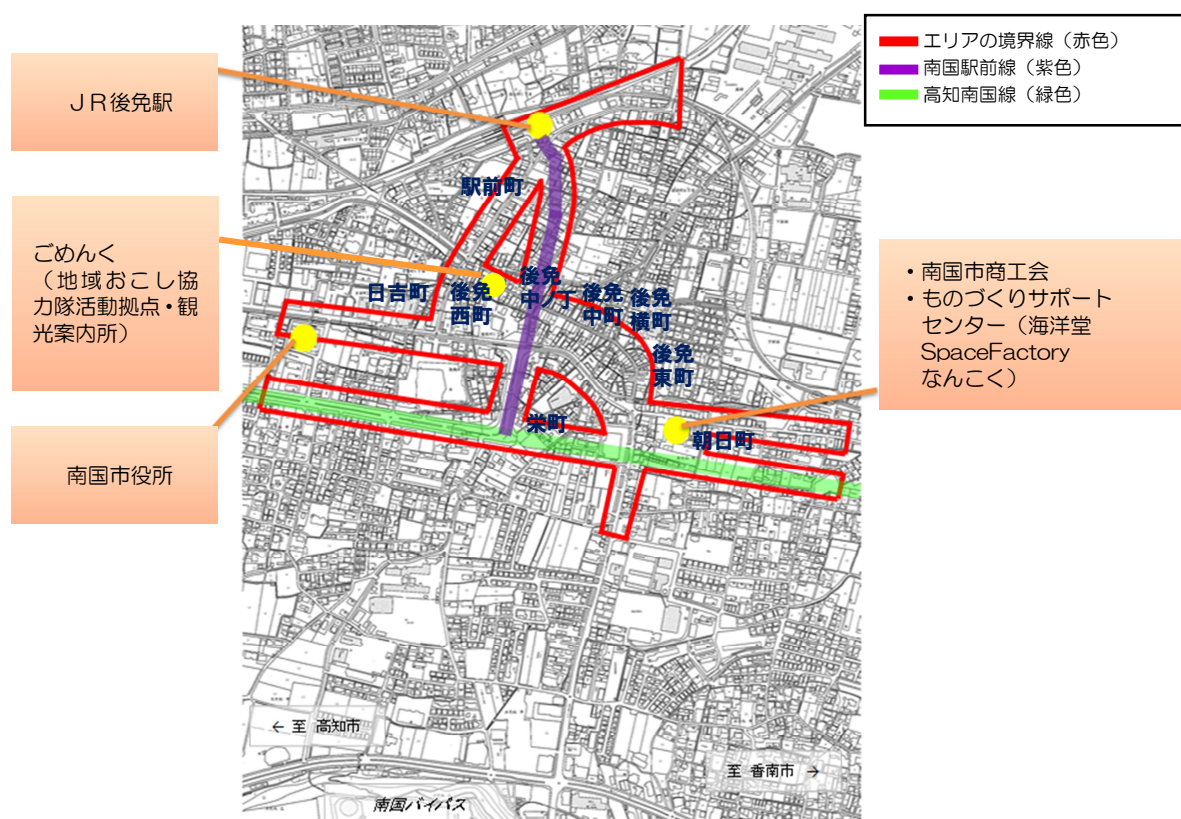
このような歴史的背景と、県内の東西の交通の要衝という立地条件から、中心市街地においては商業が発展し、江戸時代に諸役御免の地として栄えた「後免町」を中心ににぎわいを創出してきました。

本計画における中心市街地エリアの範囲は、北はJR後免駅、西は市役所、東は土佐くろしお鉄道の後免町駅、南は県道南国インター線沿いにある元高知県警察機動隊庁舎を結ぶ主要な道路の隣接地、及び都市計画法の用途区分の近隣商業地域とします。なお、都市計画道路南国駅前線及び高知南国線と隣接する地域も含めます。

### 【中心市街地の位置】



## 【中心市街地の範囲】



## （2） 南国市中心市街地の現状

本計画により活性化を図る地域は南国市の中心市街地で、主に3つのエリア（ごめん町商店街、駅前町、朝日町）に区分できます。その中でも、商店街として中心的な役割を果たしてきたのが、ごめん町商店街です。

また、中心市街地には、3つの鉄道会社の駅（JR後免駅、とさでん交通の後免中町駅と後免東町駅、土佐くろしお鉄道の後免町駅）が徒歩5分圏内にあり、交通アクセスが非常に良い地域であります。周辺には、南国市役所や南国郵便局、南国税務署、高知農業高等学校、病院等があり、昼間人口は多いです。

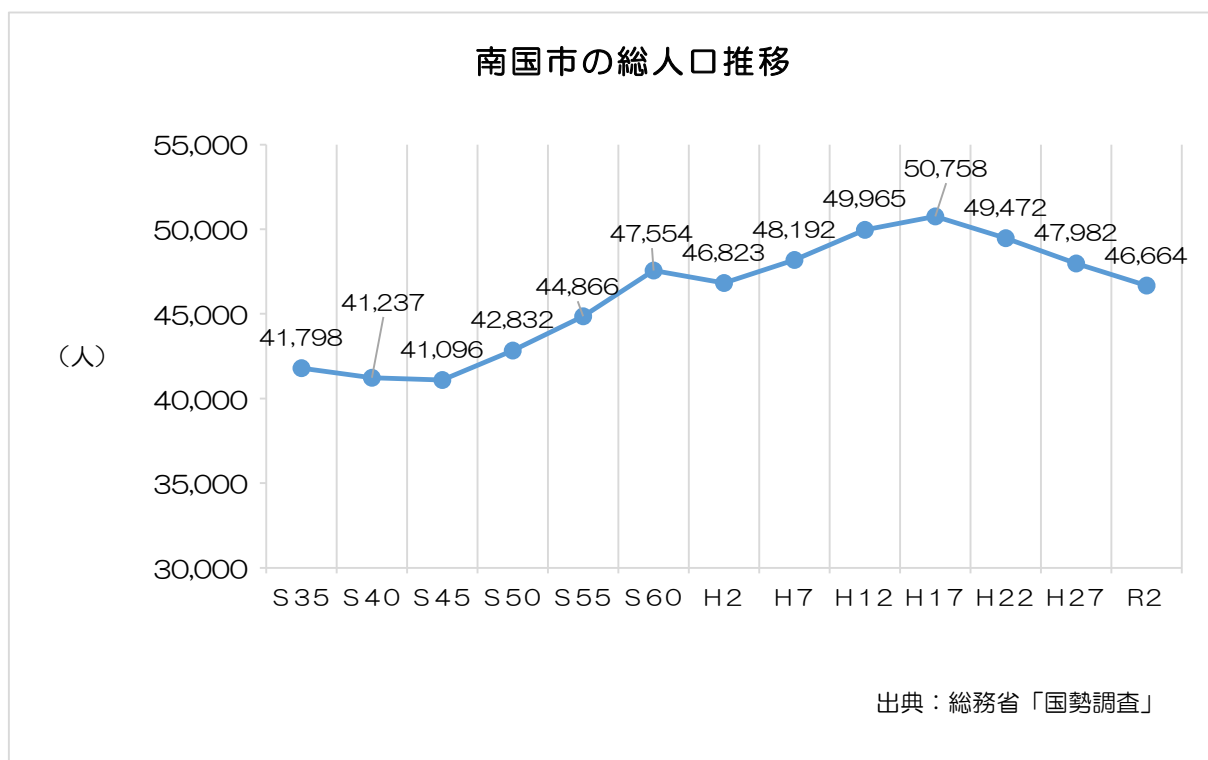
また、とさでん交通及びその軌道を並行して東西に伸びる県道南国野市線そして南北に延びる南国インター線が交わる周辺は飲食店が多く夜は市内一の繁華街となっています。

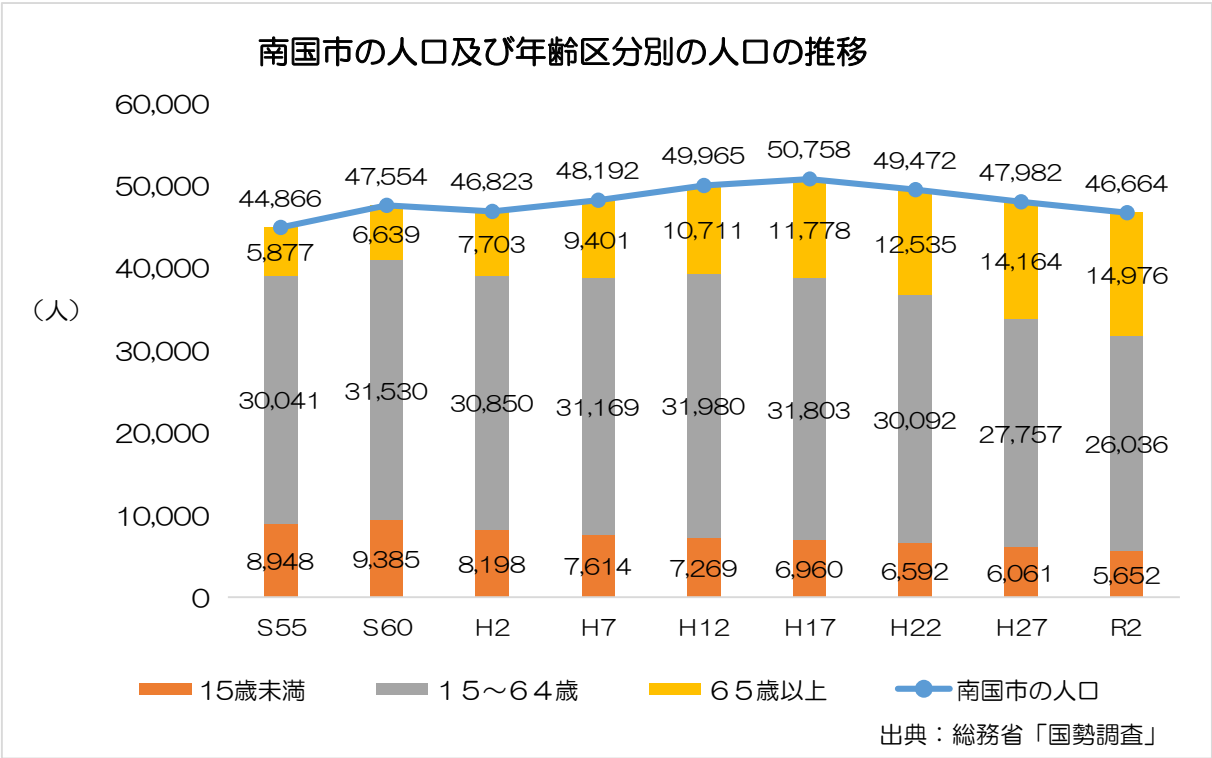
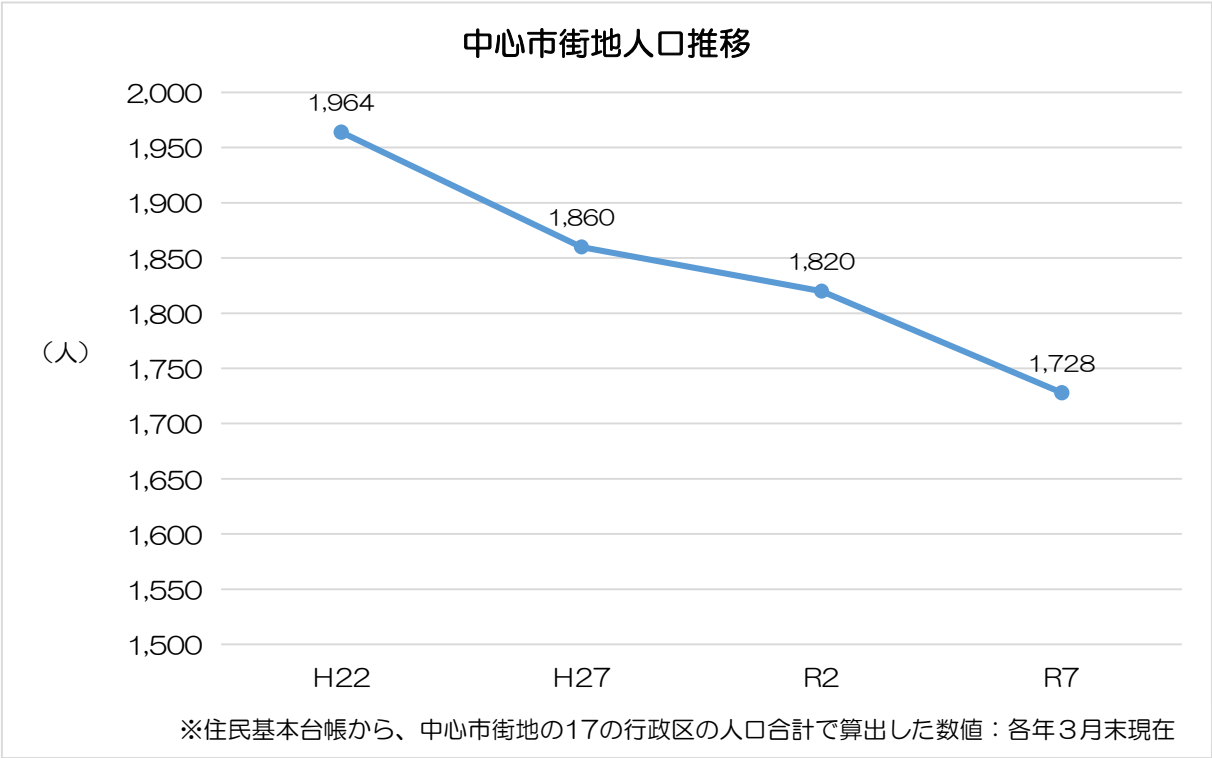
一方、交通の便が良く、学校・官公庁も集積している地域にも関わらず地域の人口減少（後免町人口S45 1,439人→R7 431人：後免東町28人、後免町1丁目107人、後免町2丁目108人、後免町3丁目64人、後免町4丁目124人）や、スーパー、ホームセンター等の大型店の郊外への進出に伴う利用者の減少、またそれに伴う商店街の空き店舗の増加、後継者不足などにより、経営環境・状況は厳しさを増しています。

### ○ 人口推移等

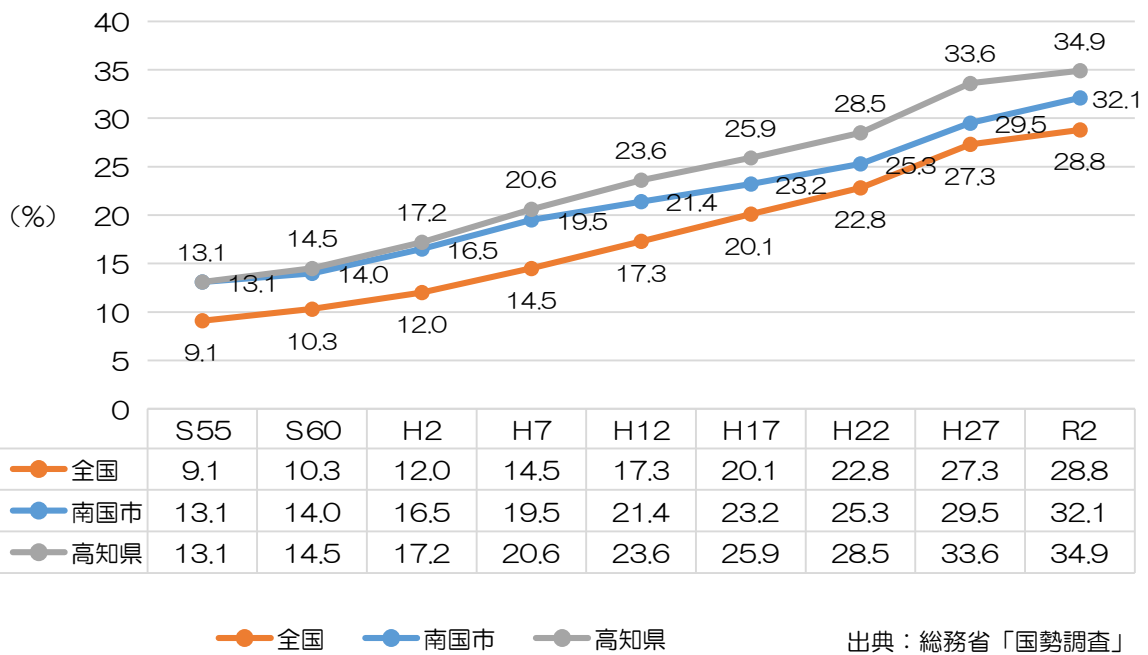
南国市の人口は、昭和34年の市制施行以来、年々増加し続け、平成17年には50,758人となり、念願の5万人を初めて突破しました。しかし、平成19年から減少傾向に転じており、平成22年には49,472人と、再び5万人を割り込みました。中心市街地の人口も、平成22年には、1,964人でしたが、令和7年には、1,728人となり、南国市全体の人口同様に減少し続けています。

年齢区分別人口で見ると、15歳未満の人口は、昭和60年から減少し続けています。また、15歳から64歳までの生産年齢人口は、平成2年から増加していましたが、平成17年に減少に転じました。一方で、65歳以上の老年人口は、増加し続けています。老年人口の全人口に占める割合である高齢化率は、平成17年に23.2%であったものが、令和2年には32.1%に上昇しています。このように、南国市においても年少人口の減少と老年人口の増加という、少子高齢化の状況が強くなっています。





南国市の高齢化率の推移



○ 交通環境特性

南国市は、飛行機、鉄道、路面電車、バス、デマンドタクシーが行き交う交通のまちです。

中心市街地には、3つの鉄道会社の駅（JR後免駅、とさでん交通の後免中町駅と後免東町駅、土佐くろしお鉄道の後免町駅）があり、周辺には南国市役所などの公共施設や、高知農業高等学校、病院等があります。350年近い歴史があるごめん町商店街は、通行量の多いとさでん交通の路面電車（後免中町電停）の通りから北に入ったところに位置しています。

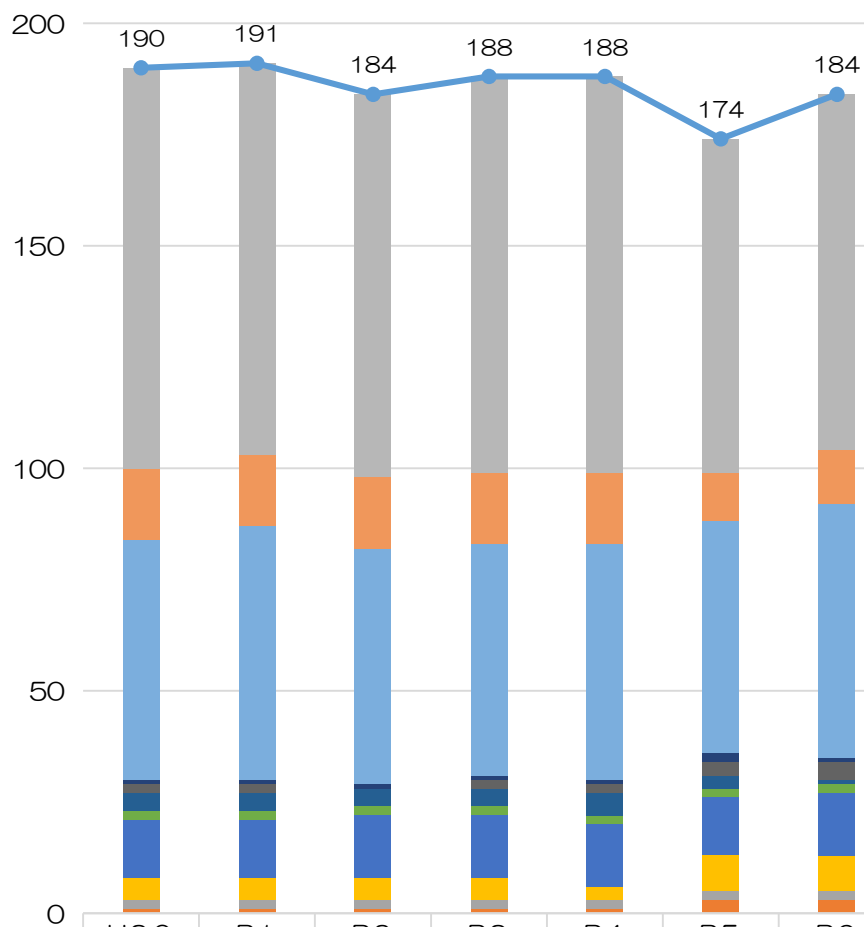
また、令和2年度にエリア内において県道南国野市線の拡幅工事が完了し、令和3年度に都市計画道路高知南国線が県道南国インター線に接続したことで、交通の利便性が向上しました。さらに令和6年度には南国市シンボルロードが開通したことで、周辺の商業店舗等から新たな人の流れが生まれ、この流れをエリア内にうまく誘導することで観光客等の集客やにぎわい創出等の波及効果が期待できます。

○ 商店街の現状商業実態について

① 営業店舗数と空き店舗数

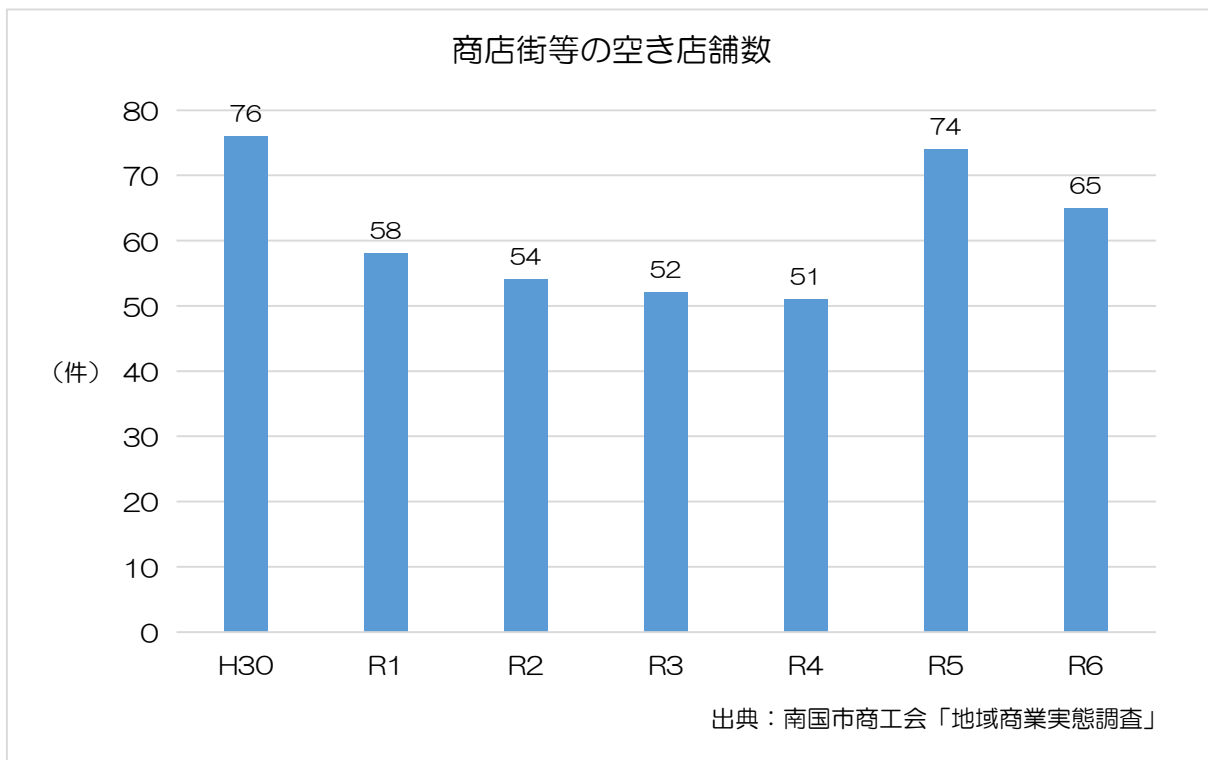
商業施設が集積されているエリア内では、令和6年の営業店舗数は184店舗で、平成30年からはほぼ横ばいとなっています。空き店舗数は減少傾向が続いていたものの、令和5年には平成30年と同水準まで増加しています。今後も人口減少・高齢化は進み地域の需要が減少していくことが考えられ、このまま事業継承が進まなかった場合、さらに営業店舗減少や廃業に伴う空き店舗が増加することが見込まれます。

### 商店街等で営業を行っている店舗数



■ その他	90	88	86	89	89	75	80
■ 理美容	16	16	16	16	16	11	12
■ 外食	54	57	53	52	53	52	57
■ 書籍、文房具	1	1	1	1	1	2	1
■ 自動車、自転車	2	2	0	2	2	3	4
■ 医薬品(ドラッグストア含む)	4	4	4	4	5	3	1
■ 家電	2	2	2	2	2	2	2
■ 各種食料品	13	13	14	14	14	13	14
■ 衣服・靴・身の回り品	5	5	5	5	3	8	8
■ 総合スーパー	2	2	2	2	2	2	2
■ コンビニエンスストア	1	1	1	1	1	3	3
● 総店舗数	190	191	184	188	188	174	184

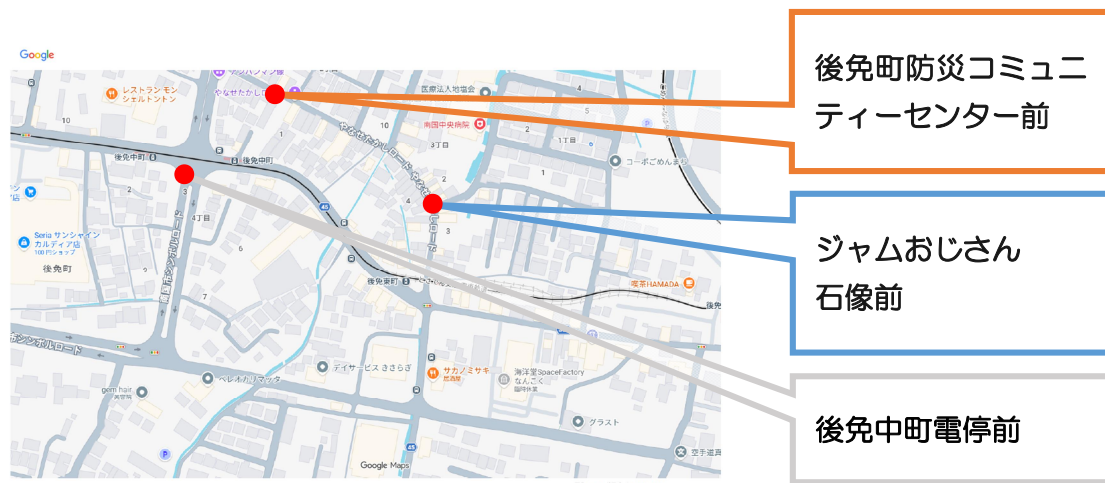
出典：南国市商工会「地域商業実態調査」



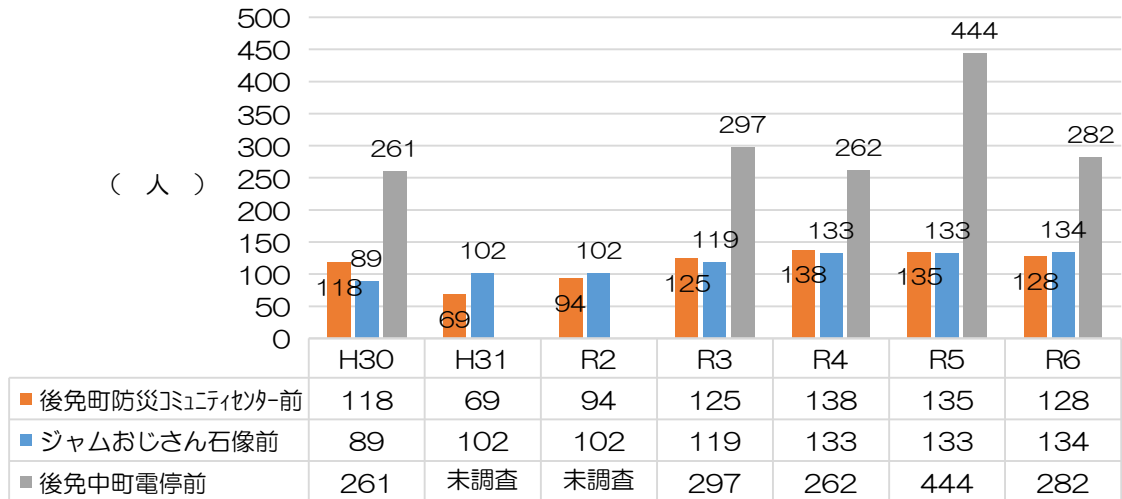
#### ②中心市街地エリアの通行量調査

毎年平日午前9時～午後5時の時間帯で、下図の3箇所で歩行者の通行量を調査していますが、平成30年度に比べるとやや増加傾向にあります。

【調査地点位置図】



### 歩行者通行量（午前9時～午後5時）



出典：南国市商工観光課調査

#### ○ 観光に関する状況

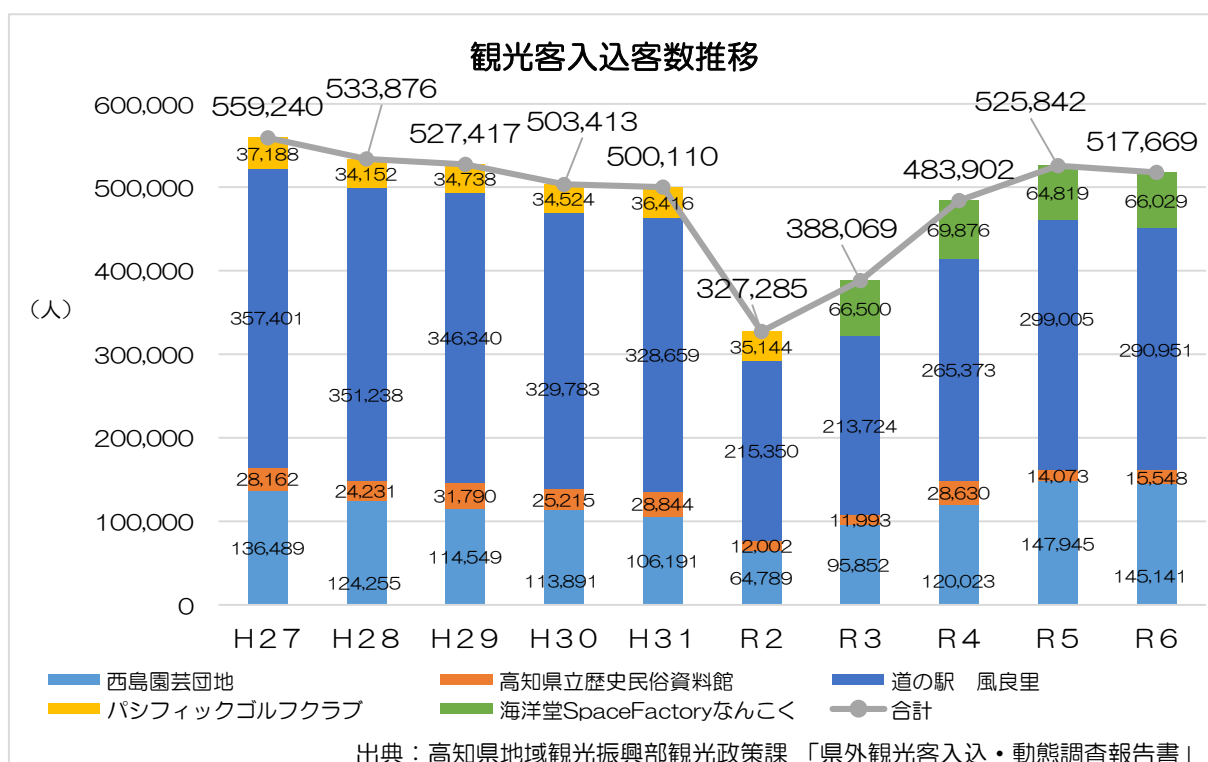
南国市は高知龍馬空港、高知自動車道南国インターチェンジを有する空と陸の玄関口であり、JR や路面電車も走る交通の要衝です。また、紀貫之や長宗我部元親に関連する遺産をはじめ、多くの歴史的・文化的遺産があり、一年中温暖な気候を活かした農業や畜産も盛んで、お米、野菜、果物、シャモ肉など食の資源も豊富にあります。高知県観光の最大の魅力である大自然を生かした（アクティビティなどの）観光資源はなく、認知度の低さなどから県内外からの誘客に苦戦を強いられてきました。

令和2年以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要が大きく落ち込みましたが、全国旅行支援などの経済対策により、令和5年には市内主要4施設入込数はコロナ禍前の水準まで回復しました。

また、令和5年10月には、2025年度前期の連続テレビ小説に南国市名誉市民のやなせたかし先生と妻・暢さんご夫婦がモデルとなる連続テレビ小説「あんぱん」が放送されることが発表され、この放送を契機とし、連続テレビ小説関連観光施策推進協議会を立ち上げ、やなせたかし先生の顕彰及びごめんの地名をいかした本市の認知度向上、観光客受入環境の整備といった「連続テレビ小説を生かした南国市観光施策推進事業」に取り組んできました。本事業の一環として令和7年4月～令和8年2月まで開催したドラマ展「のびと嵩のおらんく展」では1万人を超える来場があり、会場となった南国市ものづくりサポートセンター（海洋堂 SpaceFactory なんこく）では、12月末時点の入館者が前年度の年間入館者数を超え、オープンからの累計35万人を達成しました。さらに同施設では、高知信用金庫及び（公財）地域みらい財団

から提言を受け、より魅力的かつ、ものづくりの楽しさを伝えられる施設となるよう一部展示品等を改修し令和8年3月末にリニューアルオープンしました。

今後は、「あんぱん」で認知度が向上した「ごめん」の地名をいかしたPRを継続するとともに、「ものづくりのまち」、「歴史文化のまち」、「やなせたかしが育ったまち」を柱とした観光誘客を推進していきます。また、リニューアルオープンした南国市ものづくりサポートセンターの魅力を発信し、(一社)物部川DMO協議会と連携したインバウンド誘客の強化、国内外からの観光誘客および周遊促進に取り組んでいきたいと考えています。



### (3) 南国市中心市街地の課題への対応

協議会やワーキンググループにおいて、中心市街地における問題点の洗い出しや活性化について検討しました。

その中で、これまで同様次のような課題への継続した対応が必要となりました。

#### 【課題への対応①】中心市街地内の魅力向上や空き店舗の活用

人口減少や少子高齢化による需要の縮小や大型店の郊外進出を背景に、中心市街地では事業所店舗数や個店売上の減少が見られる中、連続テレビ小説「あんぱん」の放送を契機として、後免町商店街をはじめとする中心市街地の磨き上げに取り組んできました。

今後は、ドラマの舞台地であることや「ごめん」の地名を生かし、中心市街地の魅力を継続的に情報発信することで、来訪者の増加を図り、既存店舗の売上増加につなげて

いくことが必要です。

また、中心市街地の弱みとして「空き店舗が多い」という意見が多数あげられており、空き店舗を地域の資源として捉え、多様な活用を促進する仕組みづくりが必要です。

【課題への対応②】「ものづくり」をコンセプトにしたまちづくりと魅力の発信

南国市では、「ものづくりのまち」としての観光振興をすすめており、ものづくりサポートセンターやごめんくにおいて、ものづくりを体験するイベントやワークショップを定期的開催し、来館者がものづくりに興味を持ち、楽しむきっかけづくりを行っています。

また、ものづくりサポートセンターでは、令和8年3月末に施設の一部をリニューアルし、精巧なフィギュアや大迫力のジオラマなどを新たに展示することで、さらなる観光誘客に努めるとともに、中心市街地へ足を伸ばしてもらえよう周辺の施設やイベント情報をPRしていきます。

【課題への対応③】衰退していく地域コミュニティの強化

中心市街地の弱みとして「町内会が多く、全体でまとまって話し合える場がない」「ごめんなさいプロジェクト、ごめんシャモ研究会、ごめんまちづくり等色々団体があるが、連携がとれていない」などの意見があり、地域のつながりや活動団体の連携不足があげられました。

今後、中心市街地の活性化のための取組や新たな協力者・参加者を増やすために、地域コミュニティのつながりを深めていくことが必要です。

(4) 第2期計画の振り返り

○ 実施した内容

令和5年4月から令和8年3月までの間、基本方針に基づいて設定した第2期計画の基本となる取り組みについて、実施した内容は以下のとおりです。ワーキンググループで検討したアクションプランを元に、中心市街地のにぎわいづくりを進めていきました。

基本方針	基本となる取組	実施した内容
①活気とにぎわいがあるまち	①-I 空き店舗の利活用 ①-II 新規出店者の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き店舗情報の収集と提供</li> <li>・ 空き店舗を活用したチャレンジショップの開設と運営</li> </ul>
①活気とにぎわいがあるまち	①-III 中心市街地の既存店舗等の情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 店舗や施設を取り入れたまち歩きマップの配布</li> <li>・ 観光協会のSNSによる情報発信</li> <li>・ 後免町まち歩きガイドの実施</li> </ul>
②ものづくりを楽しめるまち	②-I ものづくりに触れる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごめんtete マルシェ実行委員会主催による、ものづくりイベントの開催</li> <li>・ 地域おこし協力隊が企画するイベントの開催</li> </ul>
③地域の人と一緒に楽しくなるまち	③-I 地元住民が楽しく交流できる機会の創出 ③-II 中心市街地を拠点としたイベントの改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごめん町イベント実行委員会によるイベントの開催</li> <li>・ アンパンマン石像清掃の実施</li> <li>・ 他のイベントと連携した軽トラ市の開催</li> </ul>
③地域の人と一緒に楽しくなるまち	③-III 観光客等が歩いて楽しめるしかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シッターアートの施工、管理</li> <li>・ 花によるおもてなしの実施</li> </ul>

○ 目標値の達成状況

第2期計画の目標値の達成状況は下記の通りです。

指標	目標値	実績				達成率
	R5～7累計	R5年度	R6年度	R7年度	R5～7累計	
中心市街地への新規出店数	6店舗	3店舗	5店舗	6店舗	14店舗	233.3%
チャレンジショップ卒業後の中心市街地への出店数	3件	0件	2件	0件	2件	66.7%
中心市街地エリア内の歩行者通行量						
①後免町防災コミュニティセンター前	①393人	①132人	①128人	①134人	①394人	①100.3%
②後免中町電停前	②909人	②444人	②282人	②286人	②1,012人	②111.3%
中心市街地におけるものづくりイベントの実施回数	9回	3回	3回	3回	9回	100.0%
ごめん町イベント実行委員会がイベントを実施した際の軽トラ市参加人数の増加分	900人	650人	15人	161人	826人	91.8%

第2章 南国市中心市街地振興計画の基本方針等

(1) 計画の位置づけと計画期間

本計画は、南国市の策定した「南国市総合計画」及び「南国市まち・ひと・しごと創生総合戦略」など関連する計画と連携をとりながら実施していきます。

中心市街地における課題に対し、令和2年4月から令和8年3月までを計画期間として、第1期から第2期計画として取り組みましたが、新型コロナウイルスの拡大による世情の変化や少子高齢化の進行により、今後も継続した対応が必要であると考え、基本的にこれまでの基本方針を引継ぎ、アクションプランの内容を見直しました。

第3期計画は、令和8年4月から、主要な事業への着手及び事業実施効果が表れると考えられる令和11年3月までの3年間とします。

- 第1期の計画期間 令和2年4月～令和5年3月
- 第2期の計画期間 令和5年4月～令和8年3月
- 第3期の計画期間 令和8年4月～令和11年3月

## (2) 基本方針

第1章(1)から(3)の現状や課題、協議会及びワーキンググループでの中心市街地の目指す姿等の検討内容を踏まえて、地域資源等を活かしたにぎわいと活気ある暮らしやすいまちの実現を目指すため、本計画の基本方針を次のとおり定めます。

### 基本方針① 活気とにぎわいがあるまち

連続テレビ小説「あんぱん」の舞台地であり、やなせたかし先生が少年時代を過ごした後免町ならではの魅力を積極的に発信するとともに、「ごめん」の地名を生かした取り組みやイベントの開催等により、中心市街地の認知度向上と誘客の促進を図ります。

また、継続して空き店舗の情報収集に取り組み、新規店舗や交流の場の創出を進めることで、地域内外から人が集まる「にぎわいのあるまち」を目指します。

### 基本方針② ものづくりを楽しめるまち

リニューアルオープンしたものづくりサポートセンターでは、大迫力のジオラマやフィギュア誕生の瞬間の見学、色塗り体験やジオラマづくりなど、「ものづくり」を存分に味わうことができるよう指定管理者とともに取り組んでいきます。さらに、ごめんくでは、手作り雑貨やアクセサリーなどの講師によるワークショップを定期的開催し、誰もがものづくりに興味を持ち楽しむことのできる「ものづくりのまち」を目指します。

### 基本方針③ 地域の人と一緒に楽しく楽しめるまち

住民主体のイベント実行委員会によるイベントの企画・運営のほか、地域おこし協力隊の卒業生が立ち上げた地域団体「NANNAN」による情報発信や映像クリエイターの育成などの活動により、地域コミュニティのつながりを深め、地域の人と一緒に楽しくできる「楽しいまち」を目指します。

## (3) 南国市中心市街地振興のための基本となる取組

### 【基本となる取組】

- ① ーⅠ 空き店舗の利活用
- ーⅡ 新規出店者の支援
- ーⅢ 中心市街地の魅力の発信
  
- ② ーⅠ ものづくりに触れる機会の提供
  
- ③ ーⅠ 地元住民が楽しく交流できる機会の創出
- ーⅡ 中心市街地を拠点としたイベントの改善
- ーⅢ 観光客等が歩いて楽しめるしかけづくり

### 第3章 南国市中心市街地振興に向けた取組と数値目標の設定

#### (1) 目標達成に向けた取組

ワーキンググループでの中心市街地活性化のための取組内容の洗い出し、検討内容の結果をふまえ、下記のとおり具体的な取組を設定します。

基本方針	基本となる取組	取組内容	地域資源G
①活気とにぎわいがあるまち	①－Ⅰ 空き店舗の利活用 ①－Ⅱ 新規出店者の支援	・ 空き店舗・空き家の情報収集を行い、新規開業につなげる	地域資源の活用
①活気とにぎわいがあるまち	①－Ⅲ 中心市街地の魅力の発信	・ 地元ならではの資源や特色を活かし、中心市街地の魅力の継続的な情報発信 ・ 中心市街地の潜在的な魅力を掘り起こし、プロモーションやクリエイティブ活動を通じた多角的な情報発信	店 地域資源の活用
②ものづくりを楽しめるまち	②－Ⅰ ものづくりに触れる機会の提供	・ ものづくりイベントの開催 ・ 「ごめんく」（地域おこし協力隊の拠点施設）を核とした周辺施設連携イベントの開催	ものづくり 地域のつながり
③地域の人と一緒に楽しく暮らすまち	③－Ⅰ 地元住民が楽しく交流できる機会の創出 ③－Ⅱ 中心市街地を拠点としたイベントの改善 ③－Ⅲ 観光客等が歩いて楽しめるしかけづくり	・ “楽しく企画・参加できる” イベントの開催 ・ 軽トラ市の開催  ・ やなせたかしロードを盛り上げる	ものづくり 地域のつながり 地域資源の活用

(2) 中心市街地振興に向けた数値目標の設定

本計画で設定した基本となる取組の推進による中心市街地活性化を目指して、下記のとおり数値目標を設定し、取組内容の達成状況の把握及び定期的な進捗管理を実施します。

【本計画におけるゴール指標】

指標	基準値	目標値		
	R8年度	R9年度	R10年度	R8~10累計
新図書館ごめんちあ 来館者数				
ものづくりサポート センター来館者数				
ごめんく・観光案内所 来館者数				

※ 本計画における中心市街地のにぎわいを来訪者数で捉え、来訪者数を測る指標として上記3施設の来館者数を計測する

※ R8年度の実績を基準値とし、R9~10年度の目標値を設定する

【アクションプランにおける取組内容に対する数値目標】

No.	指標	目標値			
		R8年度	R9年度	R10年度	R8~10累計
1	観光協会 SNS による中心市街地の魅力発信回数	50回	55回	60回	165回
2	まち歩きガイドの受入件数	30件	25件	25件	80件
3	「ごめんく」来館者数	1,600人	1,650人	1,700人	4,950人
4	中心市街地への新規出店数	2店舗	2店舗	2店舗	6店舗
5	ごめん tete マルシェの来場者数	3,400人	3,550人	3,700人	10,650人
6	ごめん町イベント実行委員会主催イベントへの住民等スタッフ参加者数	100人	100人	100人	300人
7	軽トラ市の来場者数	5,400人	5,500人	5,600人	16,500人
8	南国市クリエイター塾の受講者数	20人	30人	40人	90人

### (3) 中心市街地振興実現に向けた推進体制

「南国市中心市街地振興協議会」において、PDCAサイクルにより取組状況を点検・検証し、必要な対策の追加や取組の見直しを実施していきます。定期的な検証以外にも、必要に応じて適宜協議会やワーキンググループを開き、対策の追加や見直しを行っていきます。それぞれの基本となる取組に応じた数値目標を設定することで、PDCAサイクルによる計画の進捗管理・バージョンアップを行っていきます。

本計画の基本となる取組の詳細・スケジュールについては、別途具体的なアクションプラン（行動計画）を定め、アクションプランに基づき取組を進めていきます。

事業の追加・見直しについては、必要に応じて「南国市中心市街地振興協議会ワーキンググループ」を開催し、地元住民、商店街事業者、関係者、アクションプランの取組主体等の意見を抽出、検討して計画へ反映させていくことで、実効性のある計画となるよう進めていきます。

計画全体の進捗管理については、南国市（商工観光課）、商工会、観光協会と高知県（経営支援課）が四半期ごとに進捗状況を確認し、実効性を担保していきます。

#### 【推進体制】

